

校長 橋本 忠

学ぶ姿勢とやり抜く力を保つ夏休みに！

4月5日から始まった平成25年度も今日で72日間が終わります。20日から夏休みに入りますが、今年は耐震工事の影響で8月29日までの41日間の長い夏休みになります。3年生は進路決定に向けて高校一日体験入学に参加するなど、自分なりの学習を進めていくことになります。また、2年生は9月から始まる職場体験学習の事前訪問、1年生は職業調べなど、将来に関する学習を進めることや3年生からバトンタッチされた部活動への取組など、大変充実した夏休みとなると思います。

夏休みは家族で過ごす時間が多くなります。家族で「食事をする、話す、家の仕事をする等」いろいろなふれあいが考えられます。家族とのふれあいが多い子ほど、心は安定し、相手に対する優しさを持つことができるといわれています。ぜひ夏休みに『家族でのふれあい』をたくさん持って頂きたいと思います。また、生徒だけでの外出も増える夏休みは熱中症等の疾病や交通事故、水の事故などが起こりやすくなる時でもあります。全校集会や学級で事前指導を行いました。夏休みが病気や事故等がなく充実したものになるよう、御家庭でも御指導よろしくお祈りします。



中体連地区大会 感動いっぱいの素晴らしい戦いでした！

◇6月29日（土）に小笠水泳大会が開催され、松浦可苗さんが100m・200m背泳で、自らの持つ新記録を塗り替えて優勝しました。さらに、7月13日（土）14日（日）に行われた西部地区大会においても100m、200mで優勝しました。県大会での活躍が期待されます。

また、可苗さんは、今までの大会の中でジュニアオリンピックの200m背泳での標準記録を突破していて、8月26日から東京で開催されるジュニアオリンピック大会への出場が決定しています。ここでの健闘も期待しています。

◇野球の対菊川西戦では2点先制された後、7回に1点追いつきましたが、惜しくも逃げ切られてしまいました。どちらに勝利の女神がほほえんでもおかしくない素晴らしいゲームでした。

女子バレーは予選リーグを2位で勝ち抜き、見事決勝トーナメントに進みました。御前崎中との対戦では惜敗したものの、一人一人の精一杯のプレーが光る本当に白熱した戦いでした。

卓球団体戦では、男子が決勝リーグに進む活躍を見せ、最後まであきらめず戦い抜きました。

◇柔道では、昨年よりも階級を上げて55kg級に出場した竹中優君が決勝まで進みました。決勝では惜しくも負けてしまいましたが、礼儀正しい姿で精一杯に最後まで戦い抜きました。

◇陸上部の小笠大会は7月25日（木）にエコパで行われます。応援をよろしくお祈りします。



<お 願 い>

- ①7月20日（土）、8月31日（土）の耐震補強工事に伴う奉仕作業へのご協力、よろしくお祈りします。（詳細は以前配布させていただいた便りをご覧ください。）
- ②8月4日は全市一斉青少年育成環境美化活動です。中学生と一緒に活動をお願いします。